

シネラ・ニュース  
October 2022



ナデルとシミン(別離)



スケッチ・オブ・Peking

過去のアジアフォーカス・福岡国際映画祭上映作品を中心に

特別企画

10月10日(月・祝)  
~20日(木)

# アジア・シネマ・アンソロジー

Asian Film Joint

10月21日(金)  
~29日(土)

# Asian Film Joint 2022 場に宿るもの



セントリーサ、地球最後の日



スカラ座

©Diversion, Bandai Dam Studio, Mobile Lab



オン・ザ・ゼロ・ライン 赤道の上で

©ON THE ZERO LINE 2022



アーカイブ・タイム



春原さんのうた

©Genuine Light Pictures



世界認識の方法

## アスガー・ファルハディ 作品との出会い、本人との出会い

梁木靖弘 講演会

聞き手:三好剛平(Asian Film Jointディレクター)

イラン映画を世界標準にしたアスガー・ファルハディ監督。映画『ナデルとシミン(別離)』(2012年)、『セールスマン』(2016年)で二度のアカデミー賞外国語映画賞を受賞しています。そのファルハディ監督に世界でいち早く着目したのがアジアフォーカス・福岡国際映画祭でした。当時のプログラム・ディレクターであった梁木靖弘氏に、ファルハディ作品の魅力や、映画祭における作品選考の醍醐味などを語っていただきます。

10月10日(月・祝) 16:10 ~ 17:00  
講演会は有料で、14:00から上映の『ナデルとシミン(別離)』とセット料金です。



梁木靖弘(はりき・やすひろ)

1952年福岡市生まれ。早稲田大学大学院修了。九州大谷短期大学教授を経て、演劇・映画評論家。2020年までアジアフォーカス・福岡国際映画祭ディレクター。主な訳書に『映画について』『パリのオフエンバック』『コメディア・デラルテ』、著書に『聖なる怪物たち』『渚のモダニズム』など。

特別企画 10月5日(水)  
~9日(日)

# 本と図書館の 映画と図書館に関する ドキュメンタリー作品



ニューヨーク公共図書館

©2017 EX LIBRIS Films LLC - All Rights Reserved



ブックセラーズ

©Copyright 2019 Blackletter Films LLC All Rights Reserved



つつんで、ひらいて

©2019「つつんで、ひらいて」製作委員会

新型コロナウイルス感染防止のため  
下記へのご理解をお願いします。

- 座席数を削減しています。
- 入場にはマスクの着用が必要です。
- 咳エチケットにご協力ください。
- 鑑賞券はトレイにおいてください。
- 職員はマスク・手袋を着用します。

特別企画 本と図書館に関するドキュメンタリー作品

# 本と図書館の映画

会期：10月5日(水)～9日(日)

観覧料：600円(大人) 500円(大学生・高校生)  
400円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。  
※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。  
(チケットの販売は上映の1時間前からです。)  
※障がい者の方及び福岡市在住の65歳以上の方は300円。  
(手帳や保険証などの原本の提示が必要です。)  
※「わたすクラブ」会員の方は300円。(会員証の原本の提示が必要です。)

ニューヨーク公共図書館

5 水 14:00 7 金 14:00 8 土 14:00

Ex Libris - The New York Public Library



©2017 EX LIBRIS Films LLC - All Rights Reserved

世界中の図書館員の憧れの的であり、ニューヨーク有数の観光スポットであるニューヨーク公共図書館。荘厳な19世紀初頭のボザール様式で知られる本館と92の分館からなる世界最大級の知の殿堂であるこの図書館は、文学、芸術などの分野でも多くの人材を育ててきた。映画は、観光客が決して立ち入れない、図書館の舞台裏を見せていく。

※途中休憩あり

監督：フレデリック・ワイズマン  
2016年/デジタル/カラー/205分/アメリカ

ブックセラーズ

6 木 11:00 8 土 11:00 9 日 14:00

The Booksellers



©Copyright 2019 Blackletter Films LLC All Rights Reserved

世界最大規模のニューヨークブックフェア。そこには業界で名の知れたディーラーやコレクターら、本をこよなく愛する人々が集結する。そんな彼らの姿やめつたにお目にかかれぬ希少本の数々を、作家フラン・レボウィッツが案内人となり細解いていく。業界で名うてのブックディーラーや希少本のコレクターらの姿をカメラが追い、彼らが注ぐ本への愛情を浮き彫りにするドキュメンタリー。

監督：D. W. ヤング  
2019年/デジタル/カラー/99分/アメリカ

つつんで、ひらいて

6 木 14:00 7 金 11:00 9 日 11:00



©2019「つつんで、ひらいて」製作委員会

広告代理店などを経て独立した菊地信義は、紙と文字を触りながら手作業で本をデザインし、中上健次、古井由吉、俵万智など1万5000冊以上の本の装幀を手がけてきた。「デザインは設計ではなく『こさえること』と語る菊地信義。そんな彼の指先から、印刷や製本に至る工程を見つめ、物作りの原点を明らかにしていく。2022年3月に亡くなられたブックデザイン界の第一人者・菊地信義を追ったドキュメンタリー。

監督：広瀬奈々子  
2019年/デジタル/カラー/94分/日本

特別企画

# アジア・シネマ・アンソロジー

過去のアジアフォーカス・福岡国際映画祭上映作品を中心に

会期：10月10日(月・祝)～20日(木)

※休館日・休映日除く

観覧料：600円(大人) 500円(大学生・高校生)  
400円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。  
※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。(チケットの販売は上映の1時間前からです。)  
※障がい者の方及び福岡市在住の65歳以上の方は300円。(手帳や保険証などの原本の提示が必要です。)  
※「わたすクラブ」会員の方は300円。(会員証の原本の提示が必要です。)

10 月・祝 11:00 シヴァランジャニとふたりの女  
Sivaranjani and Two Other Women

南インドのタミル・ナドゥ州で、三つの時代を生き抜く三人の女性たちを描くオム・ナス映画。1980年、サラスワティは高圧的な夫に対し、初めて口答えをしただけで一切の会話を拒否され、夫は家を出てしまう。1995年、共働きの妻デーヴァキは、彼女の日記が家族の名誉に関わるものと疑われ、非難される。そして2007年、元陸上選手であるシヴァランジャニは、常に夫・娘の世話に追われている。この映画で描かれる約30年の間、彼女たちは女性蔑視の現実に苦しみつつも粘り強く前に進み、最後にシヴァランジャニは大きな飛躍を見せる。

監督：ヴァサント・S・サーイ 2018年/デジタル/カラー/123分/インド/日本語字幕付き

13 木 14:00 神に誓って  
In the Name of God

パキスタン人の父親を持つイギリス人メリーは、突然父親にパキスタンに連れて行かれ、タリバン兵の男と強引に結婚させられる。逃げ出そうとするメリーだが、山中に軟禁され、やがて出産する。マンスール監督のデビュー作であり、9.11のテロ以降アメリカで、イスラム教徒がどう迫害されたか、イスラム教徒と異教徒の子どもの宗教についてなど、イスラム教とパキスタンについて数多くの問題提起がされる感動作。アジアフォーカス・福岡国際映画祭観客賞受賞。

監督：ショエーブ・マンスール 2007年/35ミリ/カラー/168分/パキスタン/日本語・英語字幕付き

16 日 11:00 スケッチ・オブ・Peking  
On the Beat

北京の徳勝門分署に新人警官のリエンが配属される。ベテランのクオガリエンの指導にあたる。ある日野良犬に噛まれた酔っぱらいが運び込まれる。狂犬病の疑いがあることから署員全員で野良犬退治を行うことになる。賭博の取り締まりや痴漢騒ぎなどに忙殺される警官の姿がドキュメンタリーのように描かれる秀作。

監督：ニン・イン 1995年/35ミリ/カラー/100分/中国/日本語・英語字幕付き

10 月・祝 14:00 ナデルとシミン(別離)  
Nader and Simin, A Separation

ナデルとシミンはテヘランに住む裕福な夫婦。妻のシミンは娘のテルメーのために海外移住を考える。しかしナデルにはアルツハイマーの父親がおり、介護のため移住には反対だった。意見が対立し、シミンと別居状態となったナデルは、ラジエーという家政婦を雇う。ある日ナデルはベッドに縛り付けられている父親を見て激怒、ラジエーを家から追い出す。しかしその事が原因でラジエーは産産してしまふ。そしてナデルは殺人罪で告訴される。

監督：アスガー・ファルハディ 2011年/35ミリ/カラー/123分/イラン/日本語・英語字幕付き

13 木 11:00 きのう、平和の夢を見た  
Don't Burn

1970年ベトナム戦争中の南ベトナム。28歳の女医トウイは野戦病院で怪我人の手当をしていた。やがて米軍は爆撃されたその野戦病院を発見し、米兵フレッドがトウイの日記を拾う。フレッドは日記をアメリカに持ち帰り、ベトナム人の妻に翻訳を頼む。この映画は実話を基にしたもので、フレッドが拾った日記は35年後にベトナムに住むトウイの母親に返還された。福岡観客賞を受賞した感動作。

監督：ダン・ニャット・ミン 2009年/35ミリ/カラー/105分/ベトナム/日本語・英語字幕付き

15 土 11:00 昨夜、あなたが微笑んでいた  
Last Night I Saw You Smiling

カンボジア、プノンペンにある集合住宅「ホワイト・ビルディング」。1963年建造の歴史ある象徴的な建物で、老朽化しつつも、493世帯が暮らしていた。しかし、政府より唐突に取り壊しが発表される。住人だった監督は、2017年に建物を取り壊されていく様子や、そこに暮らす人々の最後の日々をカメラで追っていく。退去せざるを得ない住人たちの苦悩や、彼らの中にある忘れがたい記憶、そして現代カンボジアの姿も映し出すドキュメンタリーである。

監督：ニアン・カヴィッチ 2019年/デジタル/カラー/81分/カンボジア・フランス/日本語字幕付き

16 日 14:00 青いマンゴー  
The Raw Mango

両親を亡くした少女が叔母のターニーの元に預けられる。ターニーは優しいおばさんだが、夫のパウラは粗暴な男で、愛人を囲っていた。少女は学校に通い次第に友達もできるのだが…。映画は少女の視点で描かれるため大人の事情の大半は描かれない。そのためこの映画は少女の楽しい記憶の中の物語が全面に出ている。シンプルな内容だが、美しい詩情をたたえた傑作である。

監督：アモール・パーレーカ 1999年/35ミリ/カラー/97分/インド/日本語・英語字幕付き

会期：10月21日(金)～29日(土)  
観覧料：1,000円(1回券)  
4,500円(フリーパス券)

※定員制。各回入替制。 ※高齢者・障がい者等の割引はありません。

主催：Asian Film Joint 2022 実行委員会(三声舎・LOVE FM)  
協力：福岡市総合図書館、クリエイティブ福岡推進協議会  
問合せ先：Asian Film Joint 三好(info@asianfilmjoint.com)  
※期間中のイベントなど詳細はホームページにて <https://asianfilmjoint.com/>  
※海外の作品はすべて日本語字幕付き

23 日 15:00

## ヒノサト Hinosato



画家の祖父が残した絵をたどる足取りに当時の祖父の日記を重ね、日の里の風景を映し出す。「偶然と想像」などの撮影監督・飯岡幸子が、映画美術学校在籍時に自身の故郷で制作した作品。

監督：飯岡幸子 2002年/デジタル/カラー/43分/日本

プログラム

1

26 水 18:30

## 春原さんのうた Haruhara-san's Recorder

©Genuine Light Pictures



東直子の歌集「春原さんのリコーダー」の表題歌をもとに、喪失感を抱えた女性がささやかな暮らしを続ける姿を映し出す。第32回マルセイユ国際映画祭グランプリ・俳優賞・観客賞。撮影は飯岡幸子。

監督：杉田協士 2021年/DCP/カラー/120分/日本

プログラム

1

22 土 18:00

## 王国(あるいはその家について) Domains



休職中の亜希は、幼なじみの野土香が夫と構えた新居を訪れる。温度と湿度が適正に保たれたその部屋で、亜希は野土香の変化を感じ取る。英国映画協会BFIの「優れた日本映画95本」にも選出。九州初上映

監督：草野なつか 2018年/DCP/カラー/150分/日本

プログラム

2

21 金 18:30

## ココナツの見える部屋から A Room with a Coconut View



観光地として人気を集めるタイ東部のバンセーン・ビーチ。その背景に絡み合う地方政治の腐敗やタイ映画との関わりを明らかにしながら、土地と「イメージ」の関係を探るエッセイ・フィルム。日本初公開

監督：トゥンラポップ・セーンジャルーン 2018年/DCP/カラー/29分/タイ

プログラム

3

## スカラ座 Scala

©Diversion, Bandai Dam Studio, Mobile Lab



バンコクで50年以上営業を続けた老舗の映画館・スカラ座が、2020年に取り壊されるまでを記録する。閉館する劇場のようすに、作家の幼少期の記憶と映画やタイ社会の趨勢が重なる。日本初公開

監督：アナンチャ・ティタナット 2022年/DCP/カラー/65分/タイ

プログラム

3

21 金 15:00

## アーカイブ・タイム Archiving Time

©Taiwan Film and Audiovisual Institute



新北市「国家電影中心」のフィルムアーカイブで、日々フィルムの保存や修復に勤む職員たちの姿を追う。フィルムに記録された遠い過去を未来へ引き継ぐ彼らの活動と理念が映される。※劇中当時 日本初上映

監督：ルー・ユアンチー 2019年/DCP/カラー/63分/台湾

プログラム

7

29 土 18:00

## 空山靈雨(デジタル修復版) Raining in the Mountain

©1979 Lo & Hu Co-Production Ltd. / ©2018 Taiwan Film Institute. All rights reserved.



「アーカイブ・タイム」作中で修復されていた本作のデジタル修復版を特別上映。仏教寺院の跡継ぎをめぐる権力闘争と秘伝の巻物の争奪戦を交えた、巨匠キーン・フー監督の代表作。(提供：竹書房)

監督：キーン・フー 1979年/Blu-ray/カラー/121分/台湾・香港

プログラム

8

22 土 15:00

## セントーサ、地球最後の日 A Man Trembles



1998年アジア通貨危機の只中に、男とその家族は「最後の日」を過ごすためセントーサ島を訪れる。近年の開発で土地の記憶が忘れられゆく島を舞台に、不確実な時代を覆う不安と恐怖をとらえる。日本初公開

監督：マーク・チュア、ラム・リー・シェン 2021年/DCP/カラー/23分/シンガポール

プログラム

4

if your bait can sing the wild one will come! Like Shadows through Leaves

## {鳥のうた} 緑のかげ

©Kee Ya Ting



1960年代に旧マレー鉄道国有地に建てられた公営住宅タングリ・ホルト。再開発のため取り壊しが決まっているこの地区の風景と音を通じて、変わりゆく土地とコミュニティの残響をたどる。日本初公開

監督：ルーシー・テイヴィス 2021年/DCP/カラー/28分/シンガポール・フィンランド

## チョンバル・ソシアル・クラブ Tiong Bahru Social Club

©Tiger Tiger Pictures, Bert Pictures, 13 Little Pictures



人間の幸福度を数値で測り「世界一幸せなコミュニティ」を創り出すプロジェクトの職員となったアビー。住民たちとの交流を通して、人生の不条理と幸福の在り処を見つけていく。九州初公開

監督：タン・ビーティアム 2020年/DCP/カラー/88分/シンガポール

23 日 11:00

## 風景シリーズ #1 Landscape Series #1



人々が何かを指差すスライド写真は、作者がベトナムの社会問題を扱ったネット記事から採取したものの。淡々と映写されていく写真に、名もなき市民たちの無言の訴えが宿る。福岡アジア美術館所蔵作品。

監督：グエン・チン・ティ 2013-14年/デジタル/カラー/5分/ベトナム

プログラム

5

## 世界認識の方法 How to Improve the World



視覚と聴覚、私たちはどちらを頼りに世界を認識しているか。先住民の生活様式が失われていく様子を映しながら、「目」の文化に偏った私たちが見えないものに「耳」を澄ますための方法を探る。日本初公開

監督：グエン・チン・ティ 2021年/DCP/カラー/47分/ベトナム

プログラム

5

21 金 15:00

## アーカイブ・タイム Archiving Time

©Taiwan Film and Audiovisual Institute



新北市「国家電影中心」のフィルムアーカイブで、日々フィルムの保存や修復に勤む職員たちの姿を追う。フィルムに記録された遠い過去を未来へ引き継ぐ彼らの活動と理念が映される。※劇中当時 日本初上映

監督：ルー・ユアンチー 2019年/DCP/カラー/63分/台湾

プログラム

7

22 土 11:00

## オンザ・ゼロ・ライン赤道の上で On the Zero Line

©ON THE ZERO LINE 2022



言葉を無くした詩人と、流産で子どもを失った女性。交わるはずのない2人が赤道上で出会う。イランと日本で2人の監督が互いにストーリーを知らせぬまま共同制作を進めた実験的手法の作品。日本初公開

監督：神保慶政、メルダッド・ガファルザデー 2022年/デジタル/カラー/76分/イラン・シンガポール/日本

プログラム

6

## 憧れ

Here and Here

©Y. JIMBO 2017



釜山でライターとして働く妊娠7ヶ月のミナは、現地の人々の「最初の記憶」をテーマにした記事の取材に奔走する。カメラが見つめる風景に様々な想いが宿る。

監督：神保慶政 2017年/デジタル/カラー/19分/韓国

プログラム

8



1(土) 2日	休映日
3日	休館日
4火	休映日

本と図書館の映画

5水	14:00 ニューヨーク公共図書館
6木	11:00 ブックセラーズ 14:00 つつんで、ひらいて
7金	11:00 つつんで、ひらいて 14:00 ニューヨーク公共図書館
8土	11:00 ブックセラーズ 14:00 ニューヨーク公共図書館
9日	11:00 つつんで、ひらいて 14:00 ブックセラーズ

アジア・シネマ・アンソロジー

10月祝	11:00 シヴァランジャニとふたりの女	14:00 ナデルとシミン(別離) ※上映後、梁木靖弘 講演会
11火	休館日	
12水	休映日	
13木	11:00 きのう、平和の夢を見た	14:00 神に誓って
14金	11:00 ナデルとシミン(別離)	14:00 きのう、平和の夢を見た
15土	11:00 Asian Film Joint 2022セレクト 昨夜、あなたが微笑んでいた	14:00 神に誓って
16日	11:00 飯岡幸子(撮影監督)セレクト スケッチ・オブ・Peking	14:00 草野なつか(監督)セレクト 青いマンゴー
17月	休館日	
18火	休映日	
19水	11:00 Asian Film Joint 2022セレクト 昨夜、あなたが微笑んでいた	14:00 シヴァランジャニとふたりの女
20木	11:00 草野なつか(監督)セレクト 青いマンゴー	14:00 飯岡幸子(撮影監督)セレクト スケッチ・オブ・Peking

アジア・フィルム・ジョイント

21金	15:00 プログラム⑦	18:30 プログラム③	
22土	11:00 プログラム⑥ ※上映後、神保慶攻(監督)トーク	15:00 プログラム④	18:00 プログラム② ※上映後、草野なつか(監督)トーク
23日	11:00 プログラム⑤	15:00 プログラム① ※上映後、飯岡幸子(撮影監督)トーク	
24月	休館日		
25火	休映日		
26水	15:00 プログラム⑥	18:30 プログラム①	
27木	15:00 プログラム③	18:30 プログラム⑤	
28金	15:00 プログラム②	18:30 プログラム④	
29土	15:00 プログラム⑦ ※国家電影及視聴文化センターとオンライントーク(予定)	18:00 プログラム⑧	

30日	休映日
31月	休館日

## Asian Film Joint 2022 について

Asian Film Jointは昨年春、アジアフォーカス・福岡国際映画祭の終了を受け活動を開始したプロジェクトです。映画祭が30年間にわたって育んだ「アジア映画人たちのネットワーク」と「フィルムアーカイブに所蔵されたアジアの名作映画」を今後もこの街の映画資産としていけるよう、それらを積極的に織り込んだ映画の上映企画やフォーラムを実施します。昨年11月には第1回目として「アノーチャ・スウィッチャーゴーンポン監督特集 | 〈わたし〉の歴史学」を開催。地元観客だけでなく国内外の映画人たちから、福岡にアジアとの映画の現場が続いていくことへの喜びの声が集まりました。

今年、第2回目となるAsian Film Jointのテーマは「場に宿るもの」です。昨年に続きこの街に映画の〈現場〉を続けることへの決意表明であると同時に、映画を通して観客の皆さんに提起したいものはそれに限りません。大型の都市開発が進行する現在の福岡で、自分たちの〈都市〉や〈居場所〉、個人的で大切な〈風景〉とはどのようなものであったか。個人や社会の拠りどころであるはずの〈歴史〉や〈記憶〉が呆気なく忘れ去られ/塗り替えられていく今、私たちは今後それらとどんな関係を結んでいくのか。急変する近年の映画状況のなかで、地方の〈映画祭〉や〈映画館〉で育まれた時間、映画を未来へ保存する〈フィルムアーカイブ〉による営みにはそれぞれどのような意志が宿るのか。ぜひ、映画を通して皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

また、「アジア・シネマ・アンソロジー」のなかではAsian Film Jointに参加する映画人たちとともに、アーカイブ所蔵作品から推薦作を上映する企画を行います。映画は光の当て方次第で何度でも発見され続けるものであることを、観客の皆さんと一緒に実感できる機会になればと願っています。

三好 剛平 (Asian Film Joint / 三声舎)

## 「世界視聴覚遺産の日」記念イベント

ユネスコが制定する「世界視聴覚遺産の日(10/27)」を記念して、同週土曜日にはフィルムアーカイブがテーマの作品上映&トーク、施設の見学ツアーを実施します。

日時: 10月29日(土)

時間: 11:00~ 福岡市フィルムアーカイブ施設見学ツアー  
(限定先着30名/要申込み※)

15:00~ 「アーカイブ・タイム」上映  
\*上映終了後、「国家電影及視聴文化センター」ご担当者とのオンライントーク(予定)

18:00~ 「空山雲雨<デジタル修復版>」上映

※11:00~の施設見学ツアーにご参加希望の方は、お名前・お電話番号・メールアドレス・参加人数をご記載のうえ以下までお申し込みください。予定人数に到達次第、受付は終了します。

申込先: Asian Film Joint2022(担当:三好)info@asianfilmjoint.com

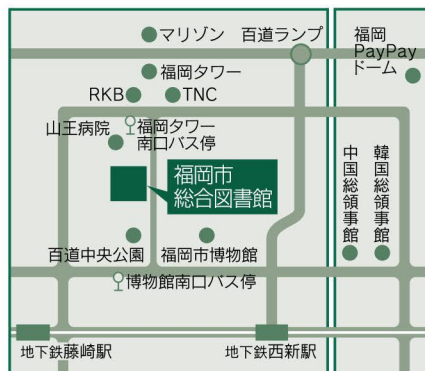
Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-la

## 福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号  
福岡市総合図書館(代表)Tel.092(852)0600 Fax.092(852)0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>



### 交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

#### 市営地下鉄

西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

#### 西鉄バス

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分

●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分

○所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については、西鉄お客様センター(電話0570-00-1010)に直接お問い合わせください。